

平成 21 年度 宮前区区民会議企画部会（第 2 回）摘録

- 日 時 平成 21 年 7 月 21 日（火）午後 6 時 00 分から 8 時 00 分
- 会 場 宮前区保健所第 1 集団教育ホール
- 参加者 永野部会長、宇賀神委員、前田委員、高木委員、佐藤委員（以上 5 名。欠席 松井委員）
門ノ沢副区長、岩佐企画課長、成沢主査、鈴木職員（以上、事務局）
福田研究員（コンサルタント）

1 開会

※会議の公開について事務局が説明し、委員の了承を得ました。

2 議事

進行：永野委員長

（1）平成 20 年度宮前区協働推進事業の評価について

※事務局から資料 1「平成 20 年度 宮前区協働推進事業評価一覧表」に沿って説明があり、質疑応答、及び報告事項等について討議を行いました。

永野部会長 ご質問などありますか。安全安心についてはトンネルの壁面の材料費を地元企業から提供していただいたんですね。立派に完成しました。

宇賀神委員 3 番の子ども安全・安心見守り事業で、安全マップのインストラクターの育成とあります。インストラクターをやられるのは、地域教育会議のメンバーが多いですか。

永野委員長 そうです。今日、明日と、宮崎小学校の 4 年生を対象に地域安全マップを実施しています。2 回以上継続して安全マップを応援してくれた場合に、インストラクターに昇格すると、地域教育会議で中心に進めています。今年からは行政区の地域教育会議が主体ではなく、中学校区の地域教育会議が主体になります。インストラクターの交通費やマップづくりの支援金は、こども支援室が予算を出します。

宇賀神委員 行政区で手を引いた時に、とりまとめ役がいなくなるのではないかと心配しました。その辺は、こども支援室で対応できますか。

事務局 今日は企画課が一括出席しましたが、全体会にはこども支援室が出席しますし、こども支援室で対応できると思います。今年は宮崎小学校の 4 年生が手をあげてくださったので中心に進めています。学校の授業の一環ですので、協力をいただかないとできない事業です。

永野部会長 地域教育会議は、こどもに危険予知能力をつけるために学校で実施して欲しいということです。学校の年間行事は 4 月にびっしり入るので、次年度の計画に持ち越すということで、これまでは学校の数が増えませんでした。校長会などで広報し、次年度の計画に入れていただきたいです。地域の土日を使い、町会、自治会などが子どもと大人が一緒になってやることを今年度は考えています。自分自身でどういうところが危険な場所なのか、具体的には誰でも入れて見えにくい場所で犯罪は行われます。それを体験してもらい、危険予知能力を身につけてもらいます。終了するガイドブックは定期的に作りますね。

事務局 5 年ごとに見直しますし、途中で配布が進めば増刷します。

永野部会長 宝さがし部会での新しい試みもありますから、見直しがあっても当然かと思えます。

事務局 全体会ではもう少しコンパクトに時間をかけずに説明します。

(2) 第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について

※事務局から資料2「第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況」に沿って説明があり、質疑応答及び報告事項等について討議を行いました。

前田委員 ◎、○、●の説明は、見ながら下に書いてありますと言った方がわかりやすいと思います。説明が早口でわかりにくかったです。

子育て支援センターの拡充は、土曜日年に1回しか開けられないのですか？横浜では土曜日開所は義務です。なぜ開けられないのですか。

事務局 提案をいただいたときに、こども支援担当参事と掛け合いましたが、正規職員が一人しかいない関係で、勤務ローテーションの関係で、通年であけることは難しいということでした。

前田委員 子育て支援センターを実施する場合、土曜日開所は父親の参加のために重要なことです。公立幼稚園があるから場所をつぶして直営でやること自体が、発想が間違えていると思います。親子にとって子育て支援センターに何が必要か、その理想的な形にするためにはどういう運営が必要かを考えることが必要で、今ある資源で簡単にできる方向でやっても理想の形にはならないです。

永野部会長 土曜日が5月から新たに増えたということで、平日もやっているんですね。

事務局 通常は月曜から金曜までです。年に2回だけ土曜日も開所するということを今年度は実施しています。

前田委員 土曜日はお父さんも来られることと、育児休養空けた親子が来れることで重要なんです。年に2回では、子育てで働いているお父さんが行ける場所が事実上ないということですね。

事務局 区役所もこれでいいと思っているわけではないです。たぶん7区で足並みをそろえていかないと難しい部分もあります。今後も、こども支援室を中心に検討したいと思います。

事務局 土曜開所の必要性は理解しております。答えとして中途半端になって申し訳ありません。こども本部の事業でもあるので、7区のこども支援室長会議を通して声を上げていかななくてはならないと思います。

高木委員 要望は多いでしょ。

事務局 参加者から見ると多いでしょう。やれば成果は出ます。

高木委員 解決策としては、正規職員を増やしていかないと、永久に増えないということですね。

前田委員 横浜市では直営ではやっていません。社会福祉法人NPOをお願いします。週に2日は休んでいいんです。

永野部会長 本会議でもう少し議論しますか。

前田委員 子育て事業分부는やっていると言うんです。をやっていると言っても、年に1回か2回ではやっているうちに入らないということです。

永野部会長 今日の段階でこういう質問があったとこども支援室に投げかけて、当日もう少し回答をお願いしましょう。

前田委員 追い詰めることになりますから、それは難しいでしょう。

永野部会長 こういう課題があってできないという課題の整理だけでもいいです。

高木委員 センターの運営の方法そのものを変えないといけないということですね。

宇賀神委員 区民会議からの提案事項の問題点なので、出してもらっていいと思います。

永野部会長 宮前区だけで解決できないなら、市に持ちあげてもらおうという方向性を出さないといけませんね。

高木委員 今の状態では難しいということですね。NPOなどに変えない限りは、それを提案として出し

でもおかしくないでしょう。

永野部会長 こども支援室に伝えてください。ダメならダメな課題を、支援室から出してもらいましょう。

高木委員 教育委員会なので難しいでしょう。菅生も一部を地域に開放してくれと言ったけれど、難しいです。

前田委員 川崎市で地域開放をしている有名な事例がありましたよね。

事務局 虹ヶ丘です。あの事例も特殊事例でなかなか広がりません。

高木委員 虹ヶ丘の成功例を宣伝していません。牙城で抱えてしまうことが多いです。3セクやNPOでやっている施設は、川崎市には2か所しかありません。

前田委員 横浜市で地域開放をして欲しいという人たちは、虹ヶ丘の例を挙げていました。

事務局 麻生区の市民活動施設やまゆりという施設もそうです。NPOを立ち上げて、自主的に活動しています。

前田委員 菅生などはまわりに公共施設がないので、土日に開放されるといろいろな活用ができますよね。

佐藤委員 親と子の子育て支援セミナーですが、定員が35名に対して参加者が少ないのは、途中で具合が悪いとか、キャンセルになるのでしょうか。この漏れた人を入れてあげられるといいなと思います。

高木委員 キャンセル待ちを作るといいでしょう。

事務局 キャンセルが事前にわかると手も打てます。

高木委員 当日キャンセルもあるんですね。もう少し柔軟性があるといいです。

宇賀神委員 定員を設けないといけないのですか。

事務局 会場の都合もあるでしょう。

永野部会長 これは行政主体でやっていますね。

事務局 協働推進事業です。

事務局 後期分をどうなるかです。前期が当日キャンセルか最初から来ないのか、その辺ですね。

佐藤委員 7回連続講座なので、1回だけが厳しくなり、こういう現状になっているのかと思います。

事務局 昨年までは通年でやっていて、来られない人がいたので、その負担を少しでも軽くするために前期と後期に分けました。

永野部会長 この辺は本会議で提案や質問があれば発言ください。

佐藤委員 7回バラバラに来ていいのなら、キャンセルが出たら連絡をしてというのもあるでしょうが、仲間づくりの目的もあるんですね。

事務局 そうです。事業の目的として仲間づくりは大きいです。

高木委員 健康麻雀の参加者がこれだけ増えたのは、認知されてきたということですね。うれしい限りですが、スペースが限られています。

事務局 鷺沼商店会に会場をお願いし、一年間貸していただけないかということで、今、会場費を払っています。

高木委員 空き店舗はないですか。

事務局 空き店舗は貸して店舗ですので、正規の料金なら貸していただけますが平米当たりですから10数万円になります。

永野部会長 ここだけではなく宮前区で6箇所作る支援センターでも、実施の可能性はありますね。

事務局 NPOにもっと体力があれば、他の場所でもと願えますが、週に2回が限界です。今は宮前地区だけですので、向ヶ丘地区でも担い手がいれば可能性はあります。

事務局 祭日でもやってほしいし、正月三が日もやってほしいということでした。祭日や正月は行くところがないからやってほしいという声が出るそうです。潜在的需要はあるようです。

事務局 地方から越してきた方で、友達がいなかったけれどもこれで友達ができてうれしいという方もいます。

事務局 人数が4人というのがちょうど会話になっていいです。

事務局 女性の参加も多いです。

高木委員 ここがサロン化していくといいですね。

佐藤委員 土日やっていない商店街を、土日だけ貸してくれると安いとかはないですか。高齢者施設でも麻雀は人気で、メンツを集めるのが大変です。お金が許すなら、土日だけの貸し出しなら安いかも知れません。

事務局 商店街に空き店舗がないか聞きましたが、難しいです。

永野部会長 本会議でどなたか提案してください。

佐藤委員 スナックなどは午前中は空いているからいいでしょう。先日テレビで、昼は八百屋で夜スナックになるというのをやっていました。東京のオフィスでも、朝一番はヨガで客を集め、昼は会議室として貸すそうです。

永野部会長 交流スペースの拡充だから、新しいアイデアを出してやれると面白いです。

宇賀神委員 防災推進委員の今年の申込状況はどうですか。

事務局 聞いていません。

宇賀神委員 50人定員で始まったけれど、申込状況がよくないらしいです。宮前区独自の仕組みなので、ここで人数が減ると、最初だけかという話になります。昨年、枠を超えた人は来年にしてくれという話もあったくらいです。今年がどうなっているか心配です。

永野部会長 推進委員になった人は、何か活動をしているのですか。

高木委員 活動の場所がまだないです。

宇賀神委員 将来的なことを見越してそういう人を増やしていこうということです。

永野部会長 せっかくですから、防災のためのまち歩きで活動してもらおう。ここにこういう重機を持っている企業があるからいざとなったら借りようなど、そういうまち歩きの調査が必要です。

高木委員 せっかく資格を取っても、やらないと忘れます。その後のフォローを考えないといけません。

(3) 各部会の審議状況について

ア 公園・地域づくり部会

※佐藤委員から資料3「宮前区区民会議 公園地域づくり部会 検討経過」に沿って説明があり、質疑応答、及び報告事項等について討議を行いました。

永野部会長 有馬でやっているプレイパークは、高齢者の見守り、昔の遊びなど、子どもだけでなく多世代でできる可能性があって良いということです。

前田委員 有馬のプレイパークは風前の灯火だと思います。メンバーが広がらず、固定のメンバーでやっています。有名ですが、区役所には認知されず、このままでは継続できなくなると思います。

永野部会長 当事者が親子で参加してほしいということはありますが、見守り隊、支援者をどう巻き込んでいくかということでした。当事者だけでは目いっぱいになっているようです。

佐藤委員 当日は、山本さんに来ていただき、話を聞きました。

高木委員 横浜市はプレイリーダーを派遣する費用を出しています。一箇所でも 200 万円出しています。プレイパークのパンフレットもできていてきちんとしています。

永野部会長 火を使うので、こういう団体が責任を持って、こういう遊びをしています。山岡さんによると、ケガも子どもの権利だということです。そういったことをきちんと表示して、遊ばしているそうです。ある団体が見守っていることを周知する仕組みが必要だそうです。

前田委員 作る段階から町内会長さんが加わるなど、作り方もありますね。そうしないと孤立します。

高木委員 行ったところは、公園で掃除している人を手伝っていません。

佐藤委員 行った公園のそばにマンションがあり、その町内会の方が掃除をしていましたが、プレイパークの方は一緒に掃除をすることはなかったです。

永野部会長 こういう活動をしているということを周知する、その辺を押してあげれば、もうすこし何とかかなる気がします。青少年指導委員にしる子ども会にしる、高齢者は増えてきていますから、運営はできると思います。その辺を組織化したり、プレイリーダーを育てたりということです。

佐藤委員 議論として、プレイパークを作るとなると、なかなか地域の方に理解いただけないという意見もあり、区民会議の提案としては組織を作り煮詰めて行政と議論して、初めて理解がいただけるのではないかとということで、組織化という流れで来ています。

前田委員 山岡さんたちは、後 1、2 年待てと言われると持たないと思います。一昔前のお母さんたちは、子どもが大きくなると支援者側に回りました。最近は利用するだけして、さよならなんです。ぜんぜん脚光も浴びませんし、きつくなっています。回りにマンションも増えて、苦情が来るようになっていて、開催回数が減っています。今から考えて 3 年後となると、消えてしまうかも知れません。

永野部会長 今度の土曜日にプレイパークを開催するそうですので、空いている人がいたら見に行ってください。自分たちが火を使うと、隣のマンションの人が来て火を使うのがいやだ、これは許可を受けてやっているという周知の看板などが欲しいそうです。マンションの人が火を使うのが自分たちのせいだとなると、なかなか使えないと言っていました。

事務局 そういう意味では、行政としてしっかり打ち出すことが必要だと思います。それが必要であれば、そういう議論をすればいいと思います。佐藤さんがおっしゃったように、どういう指針、ルールがいいのかを、地域の中で話し合っただけだとありがたいです。

前田委員 地域の中に話し合うルートがないんです。行政が中に入ること、地域の方はわかるわけで、彼女たちはもう待てない状態です。公園担当の職員や区役所の職員が本気で中に入らないと、地域の方は理解しません。もし本気でやるなら、区役所がこれは子どもたちのために必要ですと説得しないといけません。

佐藤委員 そういう話も出ましたが、そうすると子育てに特化しているのではないかと意見もありました。町内会で使いたいとか、別に部分で使いたいのに、プレイパークとして子どもだけというのは、宮前区として違うのではないかと意見もありました。そのためには組織を作って検討するのがいいのではないかとということです。

前田委員 子どもの火と町内会の火を一機にやるのは無理だと思います。今の公園にはたくさんのルールがあります。それは、みんなの声を聞くからです。何が重要で、何を実現するのかを柱を立てて取組まないと、皆な声を聞いては、結局何もできなくなります。公園がなぜ使いにくいかというと、行政がみんなの苦情にこたえているからです。

高木委員 本来使えないものを使うためにプレイパークの構想ができたわけでしょう。プレイパークということにして、火が使えたりゲームをできるようにしたわけですから、元に戻る可能性があります。

前田委員 そのときに皆なが言ったのは、子どものためであり、子どもはケガをする権利があり、子どもの自由な遊び場を守ろうということで作り、それを核に皆なが動きました。皆なの声を聞くと、必ず今の公園と同じになり、ボール遊びもダメ、水もダメ、砂場もダメとなります。それをひっくり返すために、プレイパークという今までと違う軸で進めたんです。

永野部会長 A3 版資料の維持管理・運営の担い手・組織などの課題は消化不足なので、本会議の前にもう一度部会を開催し意見交換をします。中ほどに戻って、日常的に公園を利用できる仕掛けづくりとして、プレイリヤカー、公園キャラバン、プレイリーダーなどと公園を維持管理している公園緑地運営協議会とどう進めていくかを、もう一回やらないといけません。公園緑地運営協議会は、単にゴミの清掃と緑の剪定しかしていないから、そこに公園利用の遊びの企画をどう結び付けるのかです。

高木委員 実際には盆踊りをしているところもあるから、公園緑地運営協議会が機能しているところもあるでしょう。

永野部会長 公園緑地運営協議会がまったく関係なくやっているところもあるでしょう。利用する企画と運営協議会はまったく関わっていない、その辺をどう結び付けるかです。

高木委員 本来、盆踊りは運営協議会でやるべきですね。その辺の使い方が、本来の目的からはずれています。

永野部会長 運営協議会に子ども会や子育て支援の団体を取り込んでいかないと、関係なく運営協議会があります。

前田委員 プレイパークは毎日するわけじゃないです。月に1回か2回、午前中だけです。それぐらい子どもの場所がないということです。だから、子どものために使わせてあげてと言わないといけません。

佐藤委員 その意見を本会議でもう一度言ってください。

永野部会長 前田委員は、28日の部会にも、ぜひご出席ください。西長沢公園で町会のソフトボール大会がありましたが、道路に車が止められなくなりました。一つの団体に許可すると、他の人が止めるといっているので、一切禁止になりました。ダメダメで、結局悪い方に行ってしまいます。

高木委員 一つの意見を聞いて共有化しようとする絶対ダメになります。

前田委員 公平に平等にです。

高木委員 公平に平等にという使い方はおかしいんです。エコひいきしていかないと使い切れません。

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

※高木委員から資料4「宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過」に沿って説明があり、質疑応答、及び報告事項等について討議を行いました。

永野部会長 野川かるたは利用範囲が広いので、あれをヒントに区内の各地域でかるたを作ろう、最終的には、コンペなどをして宮前版かるたにしようということです。

高木委員 そのためにかるたを推進する委員会を立ち上げて、作り方や仲間の集め方などを標準化できるといいです。それが最終的に宝をまとめる選定委員会になるといいです。区民会議では提案しかできないので、実施部隊として実行委員会を立ち上げるとよいというところまで話が進んでいます。

高木委員 群馬の「上毛かるたは」、生まれてすぐから、かるたの大会まであり使い方までやっている
ので、子どもから大人まで知らない人はいないそうです。

永野部会長 平成 24 年の区政 30 周年に向けたスケジュールで、段階を踏んでここまで盛り上げて行き
ます。かるたを使って、最終的な宮前区のコミュニティをどうするということまで提案します。

高木委員 かるたをもとにして、歩いたり、マップができたり、そういうところにつながると思います。
区制 30 周年を目標にして進めないと、ダラダラやるのは良くありません。それにより、推進力も
つくでしょう。区民会議が 2 期で終わる方も何人かいるので、そういう方が中心に実行委員会が立
ち上がるといいかと思います。

永野部会長 小学校が中心になると、小学校の年間行事の立て方もあるので、工夫をしないといけませ
ん。

高木委員 そういったことを含めて、早く立ち上げないといけません。

佐藤委員 観光協会がかかわるなどではなく、委員会を募集したときに募るという感じですか？

高木委員 使う用途を、小学校の総合教育に絞ったので、大人が全部含めてやるかるたではありません。

永野部会長 盛り上がって宮前区版ができた後に、観光協会で利用してもらうのはありますね。

高木委員 大人が考えるかるたではなく、子どもが使うかるたです。最初は総合的なかるたという案も
ありましたが、そうなる使いづらいです。親子で楽しんだり、地域の人を巻き込んでやっていき
ます。先ほどの委員会は、かるたを作っていくための指導要領を作る委員会です。地域では他の組
織が作られないと、小学校だけに任せてもできません。地域教育会議などをもとに活性化するとう
れしいです。

永野部会長 実行委員会にもそういった組織を入れ込むといいでしょう。

高木委員 地域教育会議には、町内会から子ども会、PTA まで入っています。

(4) 第 2 回宮前区区民会議の議事について

※事務局から資料 5「平成 21 年度 第 2 回 宮前区区民会議 次第(案)」に沿って説明があり、
質疑応答、及び報告事項等について討議を行いました。次第(案)については、全員で了承しま
した。

永野部会長 いつも、企画部会からの提案がありますが、今回は何かありますか。

事務局 第 3 回全体会の日程をここで調整していただき、それを提案いただければと思います。

※第 3 回全体会、企画部会の日程を以下のように決定し、第 2 回全体会で提案することになりまし
た。

- ・企画部会 11 月 5 日(木) 区役所会議室 18 時開催
- ・第 3 回全体会 11 月 13 日(金) 区役所会議室 18 時開催

事務局 委員の交代について報告があります。商店街連合会から、川島会長に区民会議をお願いして
いましたが、このたび役員を降りたので、副会長の谷山さんを商店街から委員として推薦していただ
きましたので、全体会で紹介します。

3 その他

第 2 回宮前区区民会議会場(有馬・野川障害学習支援施設)への行き方については、現在車の台
数を調整中であり、決定次第、各委員に連絡することを確認しました。